

教室や廊下の至る所で音楽プレーヤーから軽快な曲が聴こえてくる。高校生たちはダンスの練習に興じたり、せわしなく廊下を行き来したりして学級展などの準備に没頭していた。屋代高校と同校付属中が初めて合同開催する文化祭「鳩祭一」（7月6日～8日）を間近に控えた6月末。両校が今春から一緒に学ぶ校舎内は、文化祭ムード一色に染まっていた。

普段とは違う先輩たちの雰囲気、付属中1年B組の塚田龍虎君は「学校なのにこんな盛り上がりっていいのかな」と驚く。同じクラスの滝澤みさきさんも「小学校とは全然違う。すごく楽しそう」と初めての経験に興奮していた。

<4>

崎聡教諭は、合同開催により「子供たちは高校生から大いに刺激を受けているようだ」と

文化祭 高校と合同開催

きょう学級対抗仮装

生徒が自主的にイベントを企画運営する高校の文化祭と比べ、市立中学校の文化祭は学習の成果を発表する趣が強いという。屋代高校付属中は、中高一貫校としての一体感を重視し、屋代高校文化祭に相乗りする形で文化祭を行う。付属中の山

話す。中学生は前夜祭や中夜祭といった夜間の行事などには参加しない

が、7日に開く学級対抗の「仮装コンテスト」では高校生と同じ舞台に立つ。ほかに、付属中独自として合唱発表



高校生に交じり、屋代駅前通りで文化祭をPRした屋代高校付属中の生徒たち（前列の4人）

や、習字、絵画の展示なども行う。当初は、中学生の参加に難色を示す高校生もいたというが、屋代

と中学校との共催に理解を示し、盛り上げへ張り切っている。鳩祭が1週間後に迫

「一緒にPRできて屋代高校の一員になったみたい。当日は校内をいろいろ回って鳩祭を満喫したい」。付属中1年B組の山岡愛実さんは、文化祭本番を心待ちにしている。

高校3年の藤原正賢・鳩祭実行委員長は「同じ学びやで過ごす仲間。中高一貫校ならではの文化祭にしたい」

スの代表者ら総勢60人ほどが一緒に屋代駅前通りでPR活動を行った。アニメや漫画、ゲームのキャラクターを模した仮装コンテスト用の衣装を身に付けて商店で店番や手伝いをした後、商店街を練り歩いて買い物客らに一般公開（7、8日）への来場を呼び掛けた。